

平成 23 年 8 月 2 日 00025 号

編集者:佐藤 寿 春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-61-4804

Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

ニュースレター

【第59回北見地方剣道大会開催】・去る7月10日北見地方剣道連盟主催「第59回北見地方剣道大会」がアスケートネクス北見体育センターにて行われました。昭和28年北見地方剣道連盟設立当初より開催され、北見地方剣道連盟の歩みとなる大会も59回を迎えることができました。オホーツク管内はもとより旭川、十勝、釧路、遠くは羅臼町からの出場があり、小学生 低・高学年、中学生男女、高校生男女の団体戦6部門によって繰り上げられました。約600名、132チームの選手入場行進後、内田圭治大会委員長の開会宣言により幕を開けました。国歌斉唱に続き、昨年度優勝チームから優勝旗が返還され、その後今泉竹夫大会長より「気合と技で恐れることなく相手の中心に割って出ていく試合を展開してください。」との挨拶があり、来賓の方々からのご祝辞を賜りました。次いで金子罔繁審判長注意の後、全選手を代表して北見東少年部倉本春華選手による力強い宣誓があり、開会式が終了。公開演技では打太刀 錬士七段 三沢憲之介先生、仕太刀 錬士七段 長野哲男先生による気合こもった日本剣道形が披露されました。競技は金子罔繁審判長の「試合開始」の合図にて6会場一斉に始まりました。高校生、中学生はコートが狭いくらいの迫力ある熱のこもった試合が展開され、小学生低学年においては初めて試合に出た児童も多く、親達の目頭が熱くなるような懸命な試合が行われ、会場は大きな声援、拍手の渦に包まれました。各部門の決勝戦では頂点を目指すだけある互いの気合、巧みな技が展開され、観る者が思わず息を呑むほどの接戦、熱戦が繰り上げられました。閉会式では各部門の優勝から3位までの発表・表彰が行われ、審判長講評、大会長挨拶の後、大会委員長の閉会宣言にて全ての日程を滞りなく終了致しました。(佐藤素子)



【第 25 回マルちゃん杯北海道少年柔道大会】7 月 24 日(日)アスケートネクス北見体育センターで 173 チーム、948 人が参加した、通称「マルちゃん大会」が北見柔道連盟主管によって盛大に開催されました。

- ・ 団体賞は、小学生(男子団体)・中学生(男子団体)共に北区体育館少年少女柔道クラブ A(札幌)がW優勝。
- ・ 女子団体賞は、旭川市立永山中学校が優勝。ホーツ勢は健闘及ばず、全国大会出場権を逃しました。

【お知らせ】協会理事会並びに武道祭実行委員会の開催について

日 時 8 月 10 日(水) 19:00~21:00

場 所 北見市寿町 北地区公民館(第3研修室)

内 容 第16回北見市総合武道祭開催に向けての合同会議 ※10月15日(土)予定

東日本大地震・大津波 被災地ボランティア活動③

6月18日、少林寺拳法グループ拠点基地では各県からの有志8名により午前9時、ボランティアセンターで受付後、活動場所の指示を受け10時~午後3時までで正味4時間の作業活動となりました。内容は田圃の瓦礫類の撤去作業でした。田圃は海岸から近く、ヘドロと砂混じり、大きな撤去物もあって悪戦苦闘の片付けでしたが、作業後は達成感が一杯でみんなの笑顔がとても印象的でした。後の反省会では、現場では道具は少ないが、みんなの智恵と努力で協力すれば何とかできると確信し充実した1日でした。次号へつづく (宮末)

